



風



発行元

「島根県西部発達障害者支援センターウインド」
〒697-0005 島根県浜田市上府町イ 2589
TEL: 0855-28-0208 FAX:0855-28-0217
E-mail: wind1841@rhythm.ocn.ne.jp
URL: <http://iwami-wind.org/>

『春』と言えば……深い雪の下で眠る小さな種が、温かな太陽の光を浴びて綺麗な花々になる季節です。美しく可憐な花が冬の寒さの後から生まれてくると考えると、冬なくてはならない季節だと感じます。物事の一面を見て判断するのではなく、あらゆる側面から眺めて想像し見立てる力をつけていきたいと思えます。ウインドスタッフ一同、今年度も頑張っていきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。

□ウインド医療相談

*専門の医師をお招きして医療相談を実施しています。診断・投薬はできませんが、医療に関わる心配事など気軽に相談できます。【お一人当たり1時間の予約制】

*事前(約1ヶ月前)にスタッフが相談内容をお聞きし、当日も同席する事で、その後の支援に繋がっていきます。

日時	場所	担当医
5月29日(木) 13:00~16:00	ウインド	西部島根医療福祉センター 大野 貴子 先生
7月 9日(水) 13:30~16:30	ウインド	松ヶ丘病院 安藤 幸典 先生

※医療相談の利用は、ウインドホームページ(医療相談)をご確認ください。(空き状況が確認できます)

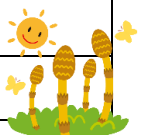
※18歳までの方が対象です。

□島根県自閉症協会 地区部会

島根県自閉症協会さんの各地区の勉強会にウインドのスタッフも参加しております。

初めて参加される方は、日程や場所が変更になる場合がありますので、事前にウインドのスタッフまでお問い合わせ下さい。

地区	時間	場所	開催日
大田	10:00~12:00	仁万まちづくりセンター	4/2(水)、5/7(水)、6/4(水)、7/2(水)
邑智	14:00~16:00	元気館(和室)	5/14(火)、7/8(火)
江津	9:30~11:30	嘉久志コミュニティーセンター	4/17(木)、5/15(木)、6/19(木)、7/17(木)
浜田	9:30~11:30	いわみーる視聴覚室	5/8(木)、6/5(木)、7/3(木)
益田	10:00~12:00	ウインド益田相談室	4/24(木)、5/22(木)、6/26(木)、7/24(木)
吉賀	10:30~12:00	よしかの里	7/18(金)
津和野	10:30~12:00	はなみずき	5/27(火)



□ウインド研修報告

2月1日(土)に『早期支援体制作り研修』を開催しました。多くの専門職の方にご参加いただきましたのでご報告いたします。参加者の声を機関紙でも共有できればと思います。

『早期支援体制作り研修』

今年度の研修では、まず始めに益田市・浜田市・江津市の早期支援体制の現状と取り組みを各市町の保健師さんに発表していただきました。

次に、西部島根医療福祉センター脳神経小児科の大野貴子先生より「幼少期の気付きや支援について～医療の役割、連携について～」のテーマでご講演いただきました。

【乳幼児期の早期支援体制について】

どの市でも乳幼児健診で気になる幼児や児童に対しては、丁寧な聞き取り、観察、次に繋ぐ取り組みを丁寧にされていることが報告の中から伝わりました。来場者の関心は、切れ目のない支援とは何か、各市が5歳児健診をどのように進めていこうとしているのかに集まりました。

【参加者アンケートより】

3市それぞれの状況について、丁寧な説明でとても分かりやすかったです。状況に応じて少しずつ変更したり大切なものは継続しておられたり、思考錯誤しておられる様子が伝わってきました。ぜひつながる先の先生方にも知っておいてほしい内容だと感じました。市に臨床心理士さんがおられるところはまだ少ないとは思いますが、役割や重要性を考えるとどこでも体制が整うといいなあと感じています。

【大野先生の講演について】

『乳幼児健診での気付きや違和感は、スタッフ間で情報共有し、次の段階へ繋ぐことが大切です。「様子を見ましょう」はただの放置です。いつ、だれが、何をどんな方法で確認するのかを明確にすることで、保護者の気付きに繋がる事もあります。「大切なお子さんがどうやったらできるようになるか、一緒に考えましょう」と伝えるだけでも保護者の頑なな気持ちを解きほぐすことになるかもしれません。医療の役割としては、どんな困り感がありなぜ起きるのか、対応(治療)があるのかどうか、家族がどうしたらよいか、等を明確にすることが“診断”となります。診断には“責任”が伴います。子どもの将来に長く関わっていく覚悟や自覚、診断ツールや診断基準への深い理解や十分な医学知識が必要です。医師以外の方が簡単に診断を下さない事が重要です。神経発達症(発達障がいのこと)の対応の基本は「環境調整」にあります。連携に必要なことは、子どもの状態や家族の状態に精通していること、どのようなサービスや機関がありどうしたら利用できるかを知っていること、相手の立場や状況を尊重すること、そして「のりしろ」を大切にすることです。』

こころに残ったキーワード

「のりしろ」とは、「(支援者が)自分たちの仕事はここまで、あとはそちらで」としないこと。これがなければ、隙間から子どもや保護者への支援がこぼれ落ちてしまいます。

沢山の皆さまにご参加いただき、アンケートにもご回答いただき大変ありがとうございました。

□ナチュカフェ活動報告（ゆるやかなステップ事業）

ナチュカフェとは・・・

発達障がいの方（15歳以上の女性）が数ヶ月に1回ウインドへ集い、様々な体験や対話を通じて交流し合う場です。ウインドに相談をされている方が対象となります。

2月8日（土）、ウインド（こくぶ学園）にて「フレームアレンジメント」を製作しました。フレームアレンジメントとは、木や箱といったフレームの中に造花を配置して自分だけのアレンジメントを作るといふものです。造花なので枯れることがなく、好きな場所に飾れます。思い思いの草花を手に取り、フラワーベースに挿していくと、初めてでも何とか形になりました。他の方がどんな作品を作り上げたか確認しあい出来上がった後で写真に残しました。

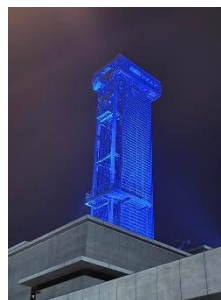
世界にひとつだけの

フレームアレンジメント完成です！！



□世界自閉症啓発デーのお知らせ

毎年4月2日は国連の定めた「世界自閉症啓発デー」日本では4月2日から8日まで「発達障害啓発週間」です。4月2日は世界・日本各地でタワーや建造物などが一斉にシンボルカラーのブルーに染まり、発達障がいの人たちが幸せに暮らすことができる社会の実現を願います。島根でも建物がブルーに染まる場所がありますよ。是非探してみてくださいね。



□ペアレントメンター“ひとコメ”ペンリレー

“ペアレントメンター”とは…

発達障がいの子育て経験を活かして、他の保護者さんのよき相談相手となれるよう、ペアレントメンター養成研修を受講、修了した先輩保護者さん方です。島根県西部地区で活動されているメンターさんをペンリレー方式で紹介します。今回は山口さんです。

壱岐さんからバトンを受け継いだ山口美奈子です!!

「最強?楽観的?」なんて言われがちなペアレントメンターの私ですが、実は最初は全然違いました(^^;)最初は、すごく不安で、悲観的な気持ちでいっぱいでした。隣りの芝生は青く見えて、時には空や海よりも青く見えることも…悩んで泣いた日もありました(T_T)でも、そんな時、先輩ママさんやパパさんたちにたくさん助けられました。「みんな違ってみんないい」という言葉の通り、どの子どもその子らしさを大切にしているんだと気づきました。そして、私たち親も同じように、それぞれのペースで歩いていけばいいんだなど実感。そして、悩んだり泣いたりすることも大切な成長の一步なんだと気づきました。親も子ども日々成長しています(*^^*)

日々の小さな出来事に幸せを見つける事を楽しみながら、これからも親として共に歩いていけたら嬉しいです。少しずつ、一緒に成長していきましょう!!次は川本つながりの島田さんです。



□当事者の声(作品紹介)コーナー



●今回は、ゆうすけさんの作品です。

絵を描いたり、気持ちを短い文で伝えたり、書くことが好きです。

トーマスは小さいときから描いていましたが、高等部の頃から顔型の作品になっていきました。からくり時計やメロディー時計が好きなのですが、いくつも買えないので、時計の絵を描いて楽しんでいたのが、最近は段ボール箱で立体作品に。裏の電池など細かいところまで書いてあってビックリです!

(ゆうすけさんのお母さんより)

ゆうすけさんの世界観が詰まったステキな時計だね!
電池が書いてあってばくもびっくりしたよ!これからも、ゆうすけさんが好きだなあ、おもしろいなど思うことを表現してね!楽しみにしているよ!

